

令和3年度 ほっとなみ地域ネットワーク会議 まとめ

(1) 目的

認知機能低下や病識がない、独居、高齢者世帯などの理由から、服薬管理ができない高齢者が多く、服薬管理方法が課題である。かかりつけ薬局・薬剤師の在宅支援の現状と役割について理解し、服薬について相談ができる関係性になる。

(2) 開催地区

出町・北部地区、庄川地区、南部・東部地区、庄東地区

(3) 内容

令和2年度 ほっとなみずっと元気会議の報告

薬剤師による講義「かかりつけ薬局・薬剤師の現状と役割」

グループワークによる意見交換

(4) 参加者

民生委員、地域福祉コーディネーター、スキルアップ研修受講者、介護保険サービス事業所、市社会福祉協議会、在宅介護支援センター、生活支援コーディネーター、砺波地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンター、認知症地域支援推進員、薬局 等

地区	開催日	参加者数	開催場所	講師
出町・北部地区 (出町・鷹栖・若林・林・高波)	R3. 8. 5	37名	砺波市役所 大ホール	たちばな薬局 館 雅司 薬剤師
庄川地区 (東山見・青島・雄神・種田)	R3. 8. 6	29名	庄川生涯 学習センター	チューリップ杉木薬局 三浦 清志 薬剤師 チューリップ砺波薬局 畑山 光薬剤師
南部・東部地区 (庄下・油田・南般若・柳瀬・中野・五鹿屋・東野尻・太田)	R3. 10. 26	34名	砺波市役所 大ホール	いかるぎ薬局 佐野 幸子 薬剤師
庄東地区 (般若・東般若・梅檀野・梅檀山)	R3. 11. 1	26名	般若農業構造改善 センター	いかるぎ薬局 佐野 幸子 薬剤師

(5) 課題と取り組み

課題：介護保険サービスだけでは支援困難であり、保険外サービスや家族、地域、多職種がチームで支援していく必要がある。支援者から薬剤師にどのように相談したらよいかや、薬剤師が訪問したことを支援者が情報共有したい。

取り組み：地域包括支援センターと薬局薬剤師の連携強化のため、包括支援センターの役割や業務を説明し、顔の見える関係作り、意見交換を行った。また、介護保険サービス事業所と薬局薬剤師がより連携できるよう、サービス事業所連絡会で薬剤師と意見交換ができる機会を設けた。